

第31回ちびっこカップサッカー大会 兼 第10回とまこまい・あそび塾杯少年サッカー大会 兼第19回岩内町長杯全道少年U-10サッカー南北海道大会 苫小牧地区予選 大会要項

※新型コロナウイルスの影響により不測の事態が起こった場合についてはすべてにおいて下記の限りではない事を必ずチームにて留意の上、ご参加ください。

- 1 主催 苫小牧地区サッカー協会
- 2 後援 「総合型地域スポーツクラブ」一般財団法人 とまこまい・あそび塾
- 3 主管 苫小牧地区サッカー協会 第4種委員会
- 4 協賛 「総合型地域スポーツクラブ」一般財団法人 とまこまい・あそび塾
- 5 期日 2022年5月21日（土）、22日（日）
- 6 会場 緑ヶ丘公園サッカー場（天然芝）
- 7 参加資格
  - ① 「参加チーム」は今年度に（公財）日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）並びに苫小牧地区サッカー協会4種委員会に本年度加盟登録済みのチームであること。（準加盟チームを含む。）
  - ② 「参加選手」は上記「加盟チーム」に所属する選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
  - ③ 同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。
  - ④ 第4種年代の女子選手については（「クラブ申請」を承認された）同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。ただし前項①～③は適用される。
  - ⑤ 各チームの登録選手は、公益財団法人日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真張り付けのないものは無効とする。（選手証とは、キックオフから出力した、選手証登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。）
  - ⑥ 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること、また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上が本協会公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること。**原則として**ベンチには複数の指導者が入ることとする。
  - ⑦ 参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。
  - ⑧ 「参加チーム」は必ず『傷害保険（スポーツ安全協会傷害保険）等』に加入していること。
  - ⑨ 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
  - ⑩ 複数チームエントリーする際は、各チームに公認指導ライセンス保持指導者及び帯同審判員が必要である。また、引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。

※ 道南ブロック、南北海道大会、北海道大会についてはそちらの要項に従うこと。

- 8 参加チーム 「参加チーム」の構成は、選手16名以内、引率指導者4名以内とする。

- 9 大会形式 (1) 競技方法は次の通りとする。
- ① 出場チームを7ブロック (3チーム7ブロック) に分け、予選リーグを行う。
  - ② 予選リーグ各ブロックの上位1チーム (7チーム)、各ブロック2位チームの中で成績上位1チーム、計8チームが決勝トーナメントへ進出する。
  - ③ 予選リーグにおける順位の決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝ち点により、勝ち点の多い順に決定する。なお、勝ち点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。(2位チーム中の成績上位1チームを決定する方法も同じ)
    - 【1】全試合の得失点差 (総得点-総失点)
    - 【2】全試合の得点
    - 【3】当該チーム同士の対戦成績 (勝負)
    - 【4】【1】～【3】の全項目において同一の場合は、PK方式 (3人) にて勝敗を決定する。
- ④ 本大会の優勝チームは、岩内町長杯全道少年サッカー岩内大会に進出する。
- 10 競技規則 (1) (公財) 日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。但し、詳細に関しては本大会用として競技方法に定める。
- (2) ゴールキーパーの負傷退場等のより、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに変わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。
- 11 競技のフィールド
- (1) フィールドの長さ (タッチライン) は60m、幅 (ゴールライン) 40mとする。
  - (2) その他ペナルティーエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
  - (3) ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
  - (4) 交代ゾーン：自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける。(ハーフウェーを挟んで3mずつ)
- 12 試合球 4号球を使用する。
- 13 競技者の数および交代
- (1) 1チーム8人の競技者によっておこなわれる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。本大会において、8人に満たない場合は試合を開始しない。その際は0-5の不戦敗とするが、試合中の怪我等により8人に満たなくなった場合は、そのまま続行する。
  - (2) 登録できる交代要員及び交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
  - (3) 交代の手続き
    - ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外にでる。
    - ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
    - ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。但し、交代で退く選手が負傷している場合は、主審の承認を得たうえで、どこからフィールドを離れてもよい。
    - ④ 交代について、主審・副審の承認を得る必要はない。

- (4) ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ代わることができる。本大会において、退場させられた者は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。

#### 14 競技者の用具

- (1) 競技者の用具については、大会実施年度の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」および「ユニフォーム規定」に従うものとする。
- (2) 選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
- (3) ユニフォームの広告表示については、(公財)日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。
- (4) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)
- (5) 審判(黒色)と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」を遵守すること。
- (6) シャツの前面・背面に選手登録用紙に記載された選手固有の番号をつけること。
- (7) 不測の事態によりGKを変更する場合、ピブスでの対応を可とする

#### 15 テクニカルエリア

- (1) テクニカルエリア(ベンチ)にはいることができる人数は、交代要員8名、引率指導者4名とする。
- (2) その都度ただ1人の引率指導者のみが、戦略的指示を与えることができる。

16 審判員 主審・補助審判の2名で運営する。

- 17 試合時間 (1) 試合時間は前、後半とも12分間とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は5分とする。
- (2) 既定の試合時間内に勝敗が決定しない場合は、いわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、決勝では、前、後半3分ずつの延長戦をおこない、なお決しないときはPK方式で勝者となるチームを決定する。延長戦に入る前のインターバルは3分、ペナルティーマークからのキックに入るまでのインターバルは1分とする。
- (3) 暑熱下において、前、後半中ほどに飲水タイムを採用する。

- 18 警告・退場 (1) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとする間は、試合を停止する。
- (2) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (3) 本大会の異なる試合において警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は苫小牧地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。

19 参加料 5000円

- 20 組み合わせ 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会代表者会議でおこなう。
- 21 帯同審判員 (1) 出場チームは公益財団法人日本サッカー協会審判員を帯同させる事。(2名が望ましい)  
(2) 帯同審判員は、大会期間中審判業務に当たらせるものとする。
- 22 開会式 開会式はおこなわない。
- 23 閉会式 閉会式はおこなわない。ただし、優勝・準優勝・3位2チームによる表彰式をおこなう。
- 24 その他
- ① 大会規定に違反し、その他不都合な行為が発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
  - ② 自チームの試合の1試合前までにユニフォームチェックを行う事。
  - ③ 選手の保護者・関係者のマナー遵守(路上駐車、喫煙マナー、会場内でのすべての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるごみ)については、チームの責任とする。
  - ④ 帯同審判で大会を運営するので、各チームは審判割り当てを遵守すること。
  - ⑤ 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には大会委員長・審判長・事業委員会において競技の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
  - ⑥ 優勝チームは2022年7月16~18日に小樽地区(岩内)で開催される第19回岩内町長杯全道少年(U-10)サッカー岩内大会の参加を義務づける。
  - ⑦ 監督またはベンチ役員が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に、再度異議を示した際は、主審の判断により退席処分とし、それ以降ベンチからのコーチングは不可とする。
  - ⑧ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、(公財)北海道サッカー協会策定のガイドラインに沿って大会運営を行っていく。
  - ⑨ 本協議会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に各チームの感染対策担当者ミーティングを実施する。
  - ⑩ 本大会における感染対策担当者は4種委員長とする。別途定める新型コロナウイルス感染予防に関する事項をチーム内で周知し徹底すること。
  - ⑪ 不測の事態が発生した際には大会実行委員長(4種委員長)により実行委員会を開き協議する。
  - ⑫ 大会参加チームは、新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で、関係者から感染者がでた場合は、本大会運営委員会において協議の上対応する。